

お詫び

図1に誤りがありましたので、模式図に変更いたしました。（2015年8月5日修正）

Injury Alert (傷害速報)類似事例

ボールペンのキャップの誤嚥による気道異物

(No. 48 水風船の誤嚥による窒息、No. 52円柱状の砂糖菓子の誤嚥による窒息の類似事例1)

事例	年齢：3歳1か月 性別：女 体重：14.1 kg 身長：96.2 cm	
傷害の種類	誤嚥	
原因対象物	ノック式ボールペンのキャップ	
臨床診断名	気道異物	
医療費	84 1,780 円	
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人・状況	患児は居間にて一人で遊んでおり、母は隣の台所で家事をしていた。居間にはお絵描き用の画用紙と、ノック式ボールペンが置いてあった。
	発生年月日・時刻	2014年9月7日 午前10時30分頃
	発生時の詳しい様子と経緯	9月7日午前10時25分頃、患児は居間にて一人で遊んでおり、画用紙にボールペンで絵を描いていたのを母が確認している。10時30分頃、母が隣の台所で家事をしていて目を離した2、3分間に突然啼泣したため、母が患児の様子を見に行った。初めは「目が痛い」と訴えていたが、すぐに咳込み出し、呼吸が苦しそうになった。周りを探すとキャップ（図1の矢印部分）のないボールペンがあったため、患児に「何か飲み込んだのか？」と尋ねると「飲み込んだ」と答えた。咳嗽が激しく、顔色不良になってきたため母が救急車を要請した。救急隊が到着時、患児にはチアノーゼを認めており、SpO ₂ 85%と低酸素血症を認めたため、酸素投与下で前医に搬送された。 なお、ボールペンはもともとキャップと離れないようになっていたが、歯で噛んで飲み込んでしまったようだった。
治療経過と予後	前医に到着時、酸素投与により低酸素血症は認めないものの、吸気、呼気共に狭窄音を聴取し、陥没呼吸を認めた。次第に陥没呼吸が増強し、患児が不穏状態に陥ったため気管挿管を行った。気管挿管下で当院に搬送され、胸部CT写真を撮影した。胸部CT写真では左主気管支の完全閉塞と、異物を疑う高吸収値域ならびに左無気肺を認めた。 左気管支異物と診断し、全身麻酔下に気管支鏡で異物摘出術を行った。左主気管支入口部に透明な異物（長径19 mm、直径6 mm）（図2-4）を認めたため、気管支鏡を用いて摘出した。摘出後の肺水腫や気管狭窄等の合併症は認めず、入院4日目に退院となった。退院後は呼吸器症状の出現はなく元気に過ごしている。	

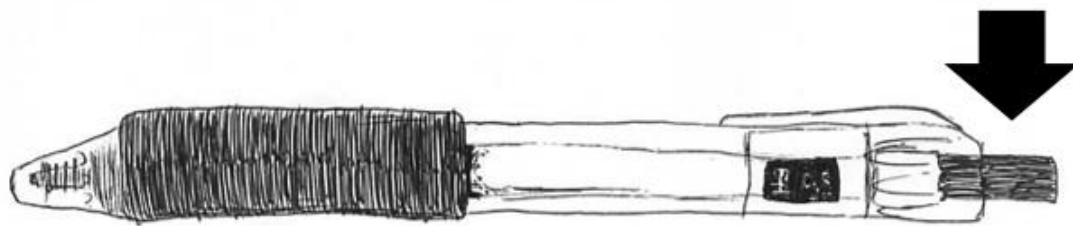


図1. ノック式ボールペンの模式図 (矢印部分がキャップ)



図2. キャップの全体像. 本製品には孔は開いていない

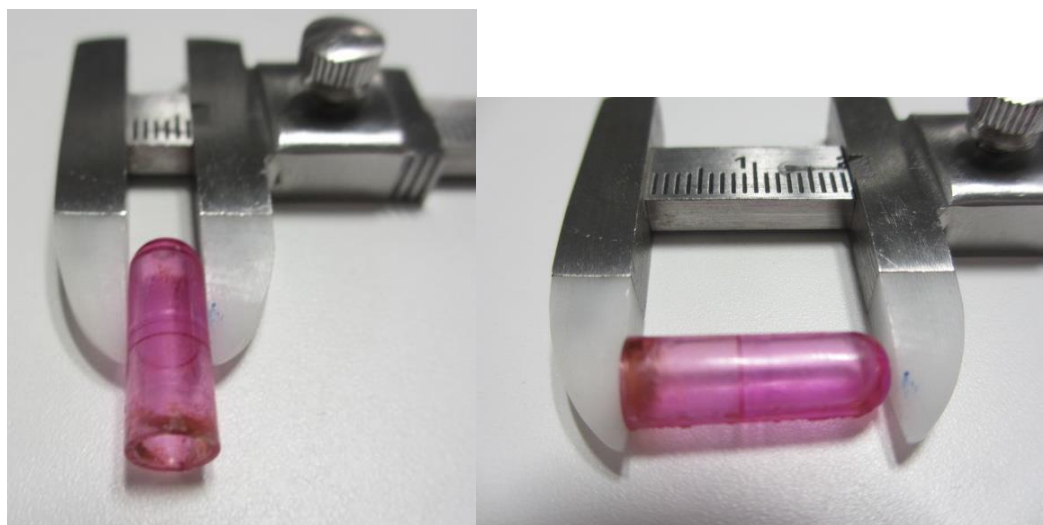


図3、図4. キャップの短径と長径